

# 平成 29 年度 事 業 報 告 書

## I 法 人 本 部

社会福祉法人啓和会は、平成 29 年度事業計画に基づき、設立の理念と公益性を踏まえ、多様化する福祉ニーズに応えられるよう、提供するサービスの質の向上に努めました。さらに事業経営の透明性の維持のため法令を遵守し、社会情勢の変化に柔軟に対応できる経営姿勢で事業基盤の強化を図りつつ、次に掲げる事業の経営を行いました。

### 経 営 施 設 等 一 覧

	施 設 名	施 設 種 別	所 在 地	開 設 年 度	利 用	定 員
第一種社会福祉事業	久喜けいわ	障害者支援施設	久喜市六万部 1435	(昭和 63 年 7 月)		
		施設入所		平成 21 年 6 月	入 所	54
		生活介護		〃	通 所	67
		就労移行		平成 22 年 3 月	通 所	15
		就労継続 B 型		〃	通 所	32
		短期入所		平成 10 年 4 月	短期入所	6
		日中一時 (公益事業)	平成 18 年 10 月	通 所		
第二種社会福祉事業	グループホーム清久	障害福祉サービス事業所 共同生活援助 短期入所	久喜市上清久 1524-1	平成 18 年 10 月	入 居 短期入所	44 1
	ワークハウス コムロード	障害福祉サービス事業所 就労継続 B 型	久喜市下早見 1769-6	平成 29 年 7 月	通 所	20
	久喜市いちょうの木	障害福祉サービス事業所 生活介護 日中一時 (公益事業)	久喜市所久喜 835-1	(平成 19 年 4 月) 平成 24 年 4 月	通 所	40
	久喜市立のぞみ園	児童発達支援事業	久喜市北青柳 1331	(平成 22 年 4 月) 平成 24 年 4 月	通 所	10
	久喜市ゆう・あい	障害福祉サービス事業所 生活介護	久喜市上内 327-6	平成 24 年 4 月	通 所	20

	久喜市あゆみの郷	障害福祉サービス事業所 生活介護 就労継続 B 型 日中一時 (公益事業)	久喜市東大輪 2273-1	平成 24 年 8 月	通 所	15 15
	障害者生活支援 センターきよく	相談支援事業	久喜市六万部 1445	平成 26 年 4 月	—	—
	埼玉葛北障害者生活 支援センター	相談支援事業	久喜市青毛 753-1	平成 18 年 10 月	—	—
公 益 事 業	埼玉葛北障害者生活 支援センター	埼玉県障害児等 療育支援事業 巡回支援専門員整備 事業 生計困難者に対する 相談支援事業	久喜市青毛 753-1	平成 11 年 10 月 平成 28 年 4 月 平成 26 年 11 月	—	—
	埼玉県地域生活定着 支援センター	地域生活定着促進 事業	久喜市青毛 753-1	平成 22 年 5 月	—	—
	久喜市障害者就労 支援センター	久喜市障害者就労 支援事業	久喜市青毛 753-1 久喜市久喜中央 2-4-18	平成 16 年 6 月	—	—
	埼玉葛北障害者就業・ 生活支援センター	障害者就業・生活 支援センター事業	久喜市青毛 753-1	平成 19 年 4 月	—	—

久喜けいわの施設入所・生活介護では、前年度に引き続き環境整備として男性棟、女性棟の居室と廊下の壁と天井の塗り替えを行いました。

就労移行・就労継続 B 型では 5 名が就職し、工賃は前年度の 1.5 倍を支給できました。

グループホームでは、スプリンクラー設備を、「こがらい」「おぎそね」「ハイツ清久」に設置しました。これにより、消防法改正に伴い設置義務が生じた 7 ホームすべてに、スプリンクラーが設置できました。

ワークハウスコムロードは、平成 29 年 7 月 1 日に、主として精神障害者の利用という新たな課題に向かって開所しました。利用率向上が喫緊の課題ですが、職員一同悩みながらも、他の通所事業への手作り弁当の配食を中心に、食材に使う野菜栽培や受託作業を行っています。

支援センターでは、生活面では、生活技術に関する相談が多くありました。また、家族への過剰な依存・暴力等、家庭内トラブルへの介入が必要なケースも多く見られており、警察・行政・医療機関などの関係機関と協力しながら支援を行いました。就労面では、精神・発達障害の方の相談が増えていますが、就労が難しい方には、就労移行支援事業所等での訓練や専門機関による職業適性検査を行うことで職場定着率が高められました。

いちょうの木では、建物及び設備の老朽化により活動に支障が出る箇所が多くあるため、改修整備を重点的に行いました。(厨房機器、エアコン、(トイレ和式便器から洋式便器への交換、車いす対応スペースの改修)、ブラインドから防災カーテンへの交換)

のぞみ園では、利用率は 63%と低迷しました。毎日でなく、幼稚園や保育園と併用しながら通園する子どもが多く、利用率向上のためには定員以上の利用者確保が必要です。

ゆう・あいでは、平成 29 年 4 月に男性 1 名利用開始、11 月に女性 1 名が肺がんのため亡くなり、1 名欠員、平成 30 年 3 月に男性 2 名が利用を開始し、現員が 21 名となりました。行動障害を持つ男性 1 名が潰瘍性大腸炎を患い、状態に合わせてマンツーマンでの対応を行いました。

あゆみの郷は、開所 5 年が経ち、利用者自治会を中心に「5 周年感謝の会」を企画し実施しました。普段お世話になっているボランティア (平成 29 年度延べ 714 名)、行政、民生委員等をお迎えして盛会に行われました。

## I 本部事業

### 1 理事会・評議員会及び監事会の開催

日 時	審議事項・目的事項	場 所	出席状況
平成 29 年 5 月 23 日 (火) 監事監査 13:00~18:00	1 平成 28 年度理事の業務執行状況 2 平成 28 年度財産の状況	久喜けいわ	監事 2 名 常務理事 幹部職員
平成 29 年 5 月 29 日 (月) 第 100 回役員会 14:00~18:20	議 題 1 定款の一部変更の件 2 平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの事業報告の承認の件 3 平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの計算書類及び財産目録の承認の件	久喜けいわ	理事 9/9 監事 2/2

	<p>4 理事候補者 9 名選出の件</p> <p>5 監事候補者 2 名選出の件</p> <p>6 社会福祉法人啓和会役員及び評議員報酬等規程の制定の件</p> <p>7 理事の報酬等額の決定の件</p> <p>8 監事の報酬等額の決定の件</p> <p>9 第 69 回評議員会（定時評議員会）の招集の決定の件</p> <p>10 職員給与規程一部改正の件</p> <p>11 啓和会経理規程の一部改正の件</p> <p>12 社会福祉法人啓和会役員等報酬・旅費規程の一部改正の件</p> <p>13 スプリンクラー設置契約の承認の件</p> <p>14 ワークハウスコムロード備品購入契約の承認の件</p> <p>15 平成 29 年度第一回補正予算の承認の件</p> <p>報告事項</p> <p>1 社会福祉施設等の指導監査結果の件</p> <p>2 社会福祉充実残額の件</p> <p>3 特定非営利活動法人一麦社が運営するグループホーム（栄現寮）の件</p>		
--	--	--	--

<p>平成 29 年 6 月 22 日 (木) 第 69 回評議員会 14 : 30 ~ 16 : 40</p>	<p>報告事項 1 平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの事業報告の内容の件 2 社会福祉施設等の指導監査結果の件 3 社会福祉充実残額の件 4 啓和会経理規程の一部改正の件 決議事項 1 定款の一部変更の件 2 平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの計算書類及び財産目録の承認の件 3 理事 9 名の選任の件 4 監事 2 名の選任の件 5 社会福祉法人啓和会役員及び評議員報酬等規程の制定の件 6 理事の報酬等の額決定の件 7 監事の報酬等の額決定の件</p>	<p>久喜けいわ</p>	<p>評議員 9 / 10 監事 2 / 2 理事長 常務理事 常勤理事 2 名 非常勤理事 1 名</p>
<p>平成 29 年 6 月 22 日 (木) 第 101 回役員会 17 : 00 ~ 18 : 10</p>	<p>報告事項 平成 29 年 6 月 22 日開催定時評議員会の審議結果について 議 題 1 理事長、常務理事及び業務執行理事の選定の件 2 理事への職員職務の委嘱の件 3 各理事の報酬額等の額決定の件 4 責任限定契約の締結の件 5 職員給与規程の一部改正の件 6 啓和会経理規程の一部改正の件 7 基本財産等の移管の件</p>	<p>久喜けいわ</p>	<p>理事 9 / 9 監事 2 / 2</p>
<p>平成 29 年 12 月 13 日 (水) 第 102 回理事会 15 : 00 ~ 17 : 30</p>	<p>議 題 1 業務執行理事の業務分掌規程の制定の件 2 業務執行理事業務分掌の決定の件 3 公印管理規程の制定の件 4 育児休業及び介護休業等に関する規程の一部改正の件</p>	<p>久喜けいわ</p>	<p>理事 9 / 9 監事 2 / 2</p>

	5 スプリンクラー設置契約承認の件		
平成 30 年 3 月 16 日 (金) 第 103 回役員会 14 : 00 ~ 17 : 20	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 幹部職員人事の承認の件</li> <li>2 平成 29 年度第 2 回補正予算 (案) の承認の件</li> <li>3 平成 30 年度事業計画 (案) の承認の件</li> <li>4 平成 30 年度収支予算 (案) の承認の件</li> <li>5 定款の一部変更の件</li> <li>6 労務管理顧問契約の変更の件</li> <li>7 第 70 回評議員会の招集決定の件</li> <li>8 職員就業規則の一部改正の件</li> <li>9 契約職員就業規則の一部改正の件</li> <li>10 契約短時間職員就業規則の一部改正の件</li> <li>11 職員給与規程の一部改正の件</li> <li>12 経理規程の一部改正の件</li> <li>13 障害者支援施設久喜けいわ運営規程の一部改正の件</li> <li>14 障害者支援施設久喜けいわ短期入所運営規程の一部改正の件</li> <li>15 グループホーム清久運営規程の一部改正の件</li> <li>16 グループホーム清久短期入所運営規程の一部改正の件</li> <li>17 埼葛北障害者生活支援センターきらら運営規程の一部改正の件</li> <li>18 障害者生活支援センターきよく運営規程の一部改正の件</li> <li>19 ワークハウスコムロード運営規程の一部改正の件</li> <li>20 久喜市いちょうの木運営規程の一部改正の件</li> <li>21 児童発達支援事業所久喜市立のぞみ</li> </ol>	久喜けいわ	<p>理事 9 / 9</p> <p>監事 2 / 2</p>

	の園運営規程の一部改正の件 22 久喜市ゆう・あい運営規程の一部改正の件 23 久喜市あゆみの郷運営規程の一部改正の件 報告事項 理事長及び業務執行理事の職務執行状況の件		
平成 30 年 3 月 26 日 (月) 第 70 回評議員会 15 : 30 ~ 16 : 40	決議事項 定款の一部変更の件	久喜けいわ	評議員 9 / 10 監事 2 / 2 理事長 常務理事 常勤理事 2 名 非常勤理事 2 名

## 2 経営会議の開催

### (1) 幹部会議の開催 (定例)

主査以上の幹部が参加する幹部会議を 12 回開催しました。各事業所の運営状況の報告や課題の抽出、法人運営に関わる重点事項について協議するなど、情報共有と課題解決の早期化が図られています。

### (2) 業務執行理事と各事業所管理責任者との課題別検討会議

それぞれの事業所におけるさまざま課題や緊急な問題について、業務執行理事と施設長等が協議する課題別検討会議を随時開催しました。問題点の洗い出しや解決方法を模索し、最良の意思決定を行うようにしました。法人の方向性の確認や全体の意思統一としても効果がありました。

## 3 経営財源の確保の徹底

(1) 指定管理施設、グループホームは利用状況が好調でしたが、けいわ就労移行、のぞみ園の利用状況が不調、特にコムロードの利用者確保が進まず当初見込みより約 1,700

万円減収となり、収支差額より積立てが出来ませんでした。

(2) 人材確保のための給与見直しにより人件費は年々増加となっており、収入増によるカバーが難しい状況でした。

(3) 寄附金等による財源確保

- ・ 経常経費寄附金収益は昨年度より約 75 万円減少となり、寄付者の減少傾向が続いています。平成 29 年度は、下表のとおり、企業、団体及び個人からの寄附を受け入れました。また、固定資産の受贈、国、県からの助成金を受け入れています。

寄 附 者	金 額
(本 部)	
恵比寿化成様他 5 企業・1 団体	750,000 円
宮川耕一様他 72 名の個人	4,657,610 円
小 計	5,407,610 円
(久喜けいわ)	
ボーイスカウト久喜団様他 2 団体	228,000 円
寄附物品 (切手)	20,696 円
小 計	248,696 円
(いちょうの木)	
清久婦人会様他 2 団体	18,000 円
合 計	5,674,306 円

(4) 固定資産受贈

寄 贈 者	金 額
(久喜けいわ)	
星野博様 軽トラック	1 円
合 計	1 円

(5) 助成金

支 払 先	金 額
(本 部)	
高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者 雇用調整金	648,000 円
(けいわ就労B)	
埼玉県障害者支援課 技術指導員支援制 度補助金	400,000 円
合 計	1,048,000 円



#### 4 施設整備等

下記の施設整備を実施しました。

利用者の安全性・利便性を高めるため、サービスの質の向上、業務の効率化のための整備

事業内容	事業費(円)	財源(円)
1 グループホームスプリンクラー設置(3住居)	12,798,000	自己資金
2 けいわ生活棟・自立棟監視カメラ設置	2,430,000	内補助金1,822千円
3 けいわ生活棟壁面塗装	2,473,200	自己資金
4 けいわ生活棟大型乾燥機修理	403,272	〃
5 けいわ生活棟脱衣所・トイレ手すり取付	205,649	〃
6 けいわ生活棟給排水設備修理	579,311	〃
7 けいわ生活棟車いす用体重計	149,688	〃
8 けいわ生活棟空調設備修理	410,400	〃
9 コムロード弁当製造販売用備品整備	1,366,312	〃
計	20,452,882	

#### 5 危機管理対策の強化

啓和会の運営する各事業所の立地条件を把握し、予想される地震災害及び風水害に対する防災計画を事業所ごとに策定しました。

内容としては、平常時の安全対策として、建築物等の点検、非常時の食糧・医薬品の確保、災害対応組織体制等を定め、災害時における応急対応、被災生活への対応やサービス再開に向けた対応等について整理し、平時及び災害発生時におけるリスクの把握・回避・低減に資する計画としました。しかし、策定が年度末であったことから、新年度の体制において役割分担を定め、全体化をすることとしました。

また、福祉避難所に係る県及び市が実施した説明会に参加し、被災生活を送る上での知識を深めました。

#### 6 借入金の償還状況

借入年度 借入先	借入額	期首残高	平成29年度 償還金	借入残高
平成18年度 福祉医療機構 (就労継続)	25,000,000	13,100,000	元金 1,310,000 利子 236,455	11,790,000

平成 27 年度 福祉医療機構 (GH 清久)	10,000,000	10,000,000	元金 256,000 利子 54,901	9,744,000
合 計	35,000,000	23,100,000	1,566,000	21,534,000

## 7 地域福祉活動

### (1) 障害者福祉ニーズの調査

平成 29 年度の障害者福祉ニーズの調査は、相談支援センターが受けた相談内容から、傾向を把握しました。

	今年度	前年度
生活に関するニーズ	53%	50%
施設に関するニーズ	21%	20%
医療に関するニーズ	15%	17%
職業に関するニーズ	4%	6%
教育に関するニーズ	5%	4%
その他	2%	3%

### (2) 久喜市知的障害者青年学級運営委員派遣

久喜市フレンドシップ学級運営委員として職員 5 名を派遣しました。

### (3) 地域に向けた研修の実施

- ・ 歯科保健事業の研修は、講師を務めて下さる久喜歯科医師会の先生方と協議をした結果、平成 30 年度に実施することとし今年度は見送りました。

## 8 彩の国あんしんセーフティネット事業(生活困窮者に対する相談支援事業)

平成 29 年度は 2 件の支援依頼があり、1 件は就職活動をするための交通費と、もう 1 件はライフラインを継続するための光熱水費の現物支給を行いました。また、正式な依頼とは別に、生活困窮家庭の引っ越しの手伝い等も適宜行いました。

## 9 人材の確保・定着と育成

### (1) 人材の確保

- ・ 新卒採用については定期的な施設見学会を開催し、リクナビからエントリーした学生に対しては小まめに連絡をとって見学会への参加を促しました。また、啓和まつりや盆踊り大会への案内も行なって採用応募につなげました。
- ・ 各大学や専門学校等に法人パンフレットと求人票を配布しました。

- ・実習生からの就職相談に応じ、ボランティア活動やアルバイトへの要望を積極的に受け入れました。
- ・良質な人材を確保できるよう、リクナビ活用のほか、ホームページでの求人掲載、ハローワークおよび福祉人材センターへの求人登録、新聞折り込み広告やタウン誌の活用、各種就職面接会等への参加など、幅広い求人活動を継続的に行いました。

## (2) 人材の定着

- ・職務点検活動の一環として職員面談を実施し、部下と上司が話し合う場を設けました。
- ・入所施設およびグループホームにおいて職員アンケートを実施し、労務上の課題抽出に努めました。
- ・職員の処遇改善を図るため、給料表の切り替えと初任給基準の引き上げを中心とした給与改定を行いました。

## (3) 人材の育成

- ・人材育成委員会、研修委員会、虐待防止委員会において、各分野の法人全体研修を計画、実施しました。
- ・職務点検活動の一環として、幹部職員の育成に目標管理制度を導入しました。
- ・サービス管理責任者研修に 11 名、障害者相談支援従事者研修に 5 名、強度行動障害支援者養成研修に 6 名を参加させました。
- ・採用内定者に対し、採用前研修を 2 月下旬に 3 日間実施しました。

## 10 委託給食の評価（継続）

毎日の検食簿と毎月の給食会議で評価を行なっていますが、委託後の給食内容には満足の結果が出ています。

## 11 地域社会との連携の強化

### (1) 日常的な活動による住民と居住する利用者のつながりの強化

- ・地域行事への参加
  - 久喜市民祭り出店、久喜市ちょうちん祭り参加、久喜市防災訓練、久喜地区平和と人権の集い出店、コスモスフェスタ出店、障がい者週間記念事業出店、地区の運動会参加、地区の祭り参加、地区の収穫祭参加、地区の新年の集い参加、地区マラソン大会参加
- ・行政や地域団体との連携
  - 久喜市商工会加入
  - 久喜市障害区分認定審査会委員、幸手市障害区分認定審査会委員、杉戸町障害区分認定審査会委員、宮代町障害区分認定審査会委員、久喜

特別支援学校評議員、騎西特別支援学校評議員、久喜人権啓発久喜実行委員及び同委員会開催イベントに出店、第73区自主防災組織副会長、埼玉葛北地区地域自立支援協議会委員、久喜市障がい者施策推進協議会委員、フレンドシップ学級委員、サービス管理責任者研修分野別ファシリテータ、埼玉県発達障害福祉協会理事、埼玉県知的障害児・者生活サポート協会監事、けやきの木利用審査委員会委員

- ・ふれあいの家白幡

「ふれあいの家白幡」は、婦人会活動など地域で有効に活用され、喜ばれています。

#### (2) 防災協定

- ・久喜市地域防災計画に基づく指定緊急避難場所・避難所として防災協定を締結しました。

### 12 スポーツ振興事業等の推進

#### (1) マラソン等スポーツ事業の助成

マラソンクラブは、走友会等の団体ボランティアや個人ボランティアが伴走をしてくれていますので、各種の地区大会に参加できています。本部から10万円を助成しています。

#### (2) 音楽クラブの活動の助成

音楽クラブは、個人ボランティアに支えられ活動しています。本部から10万円を助成しています。

### 13 広報活動の充実

#### (1) パンフレット

法人パンフレットおよび求人者向けパンフレットの更新を行いました。

#### (2) ホームページ

啓和会ホームページの更新を随時行いました。

### 14 家族会・後援会との連携

#### (1) 成年後見制度の利用促進と市町村長申立制度活用の検討

平成29年9月9日に行われた家族会の成年後見制度研修会に職員1名が参加しました。親族の関係が疎遠になっている1名の利用者について、援護地の自治体の成年後見制度利用事業を活用し、市長による申し立てを行いました。

#### (2) 久喜けいわ改築に向けた協議

積立金が少なく、計画が具体化しないため、協議にまでは至りませ

んでした。

(3) 事務的な支援

本部嘱託職員が家族会・後援会の対外的活動と事務処理等について支援しています。

## 15 虐待防止の取り組み強化

法人の重点事項として取り組んでおりましたが、9月に久喜けいわにおいて不適切な支援がありました。12月に開催された理事会で報告し、再発を防止するため、法人を挙げて以下のとおり対策をさらに強化して取り組みました。

(1) 虐待防止委員会の開催

平成29年度は、利用者の安全と人権保護の観点から、適正な支援が実施され、利用者の自立と社会参加のための支援を妨げることのないよう、定期的に又は適時に虐待防止委員会を年5回開催しました。また、委員会の中に「作業部会」を設け、年6回作業部会を開催して、虐待防止マニュアル及びチェックリストを作成しました。

(2) 虐待防止や人権意識を高めるための研修実施

研修委員会と日程の調整を行い、虐待防止に係る研修を年3回(9月・12月・2月)実施しました。

研修内容は、社会福祉法・知的障害者福祉法のみならず、障害者自立支援法や障害者の権利宣言等の知識の習得に努めました。また、「グリーゾーンを考える」テーマで法人の施設長及び外部講師による講義、参加職員による「グループ討議」を実施し、職員の人権意識の高揚を図りました。

(3) 虐待防止のためのチェックとモニタリング

委員会及び作業部会の委員により、虐待が起こらないよう事前の措置として、職員の虐待防止意識の向上や知識を周知しました。

また、虐待のない施設環境づくりを目指して、施設を巡回して、日頃より利用者の支援の場に虐待及び虐待につながるような支援が行われていないか観察し、必要があるときは職員に直接改善を求めて指導しました。

## 16 30周年記念事業の検討と準備

プロジェクトチームを組織し、8回の検討会議を実施しました。記念式典の開催と記念誌の発行に向けて引き続き準備を進めています。